



名取市図書館友の会

な と と 通 信



第12号 2022.3.20

連絡先

事務局 名取市図書館

022-382-5437

図書館の本で楽しく作ろう！

～花のペーパークラフト～

今回の図書館の本



2月8日(火)、新型コロナ感染対策のため、会場を増田公民館の講義室に移し、図書館所蔵の本を活用して行う新しいイベント「図書館の本を楽しもう！」が開催されました。第一回のこの日は「野の花の立体切り紙」(やまもとえみこ著・誠文堂新光社刊)を元に、季節の花・つばきを製作しました。材料と手順の説明後、慎重に紙を切り、指先でクルクルッと丸め、形を整えながら糊づけをする、一連の作業を丁寧に丁寧に進めてゆきます。そして出来上がった作品を手の中に優しく包んでみる。こうして参加の皆さんによる「冬の陽に凛と咲く椿」が完成しました。閉会后「こんな



楽しい時間は久しぶりでしたよ」と嬉しい感想に、企画・練習会・準備を経て無事終了出来た事に安堵の笑顔を交わし合うメンバー達でした。

さあ、次回は書架からどんなものが生まれるでしょう。(篠原)

「図書館の本を楽しもう！」は、次年度から奇数月の第2火曜日午後に定期的に行います。図書館の様々な分野の本を使ってみんなで楽しみながら作ったり、学んだりしていきます。お楽しみに♡



次回 図書館の本を楽しもう！

～ 柿渋の世界・小物を作ってみよう ～

日 時 5月10日(火)13:30～15:30

会 場 増田公民館 研修室

定 員 10名

参加費 材料費

申込み受付は4月15日から図書館へ

2/1 おはなしボランティア連絡会

柴崎館長のもと、おはなし会・ミニミニおはなしタイムでの活動グループ(おはなしキラキラの会、スマイル、ねむの木、みんなで楽しもう会)の代表が集い、来年度の当番決め。その他研修会実施について等、和気あいあいの中に有意義な意見交換がなされました。



2/18 おはなしボランティア研修会

絵本の楽しさを子どもたちに

～おはなしボランティアができること～

45年を迎える「まつお文庫」の松尾福子さんに、文庫活動や「子どもが絵本を読んでもらうことのよさ」等をお話していただきました。絵本やわらべうたも沢山紹介され、ボランティアさんにとって得るものも多く、充実した内容でした。絵本やおはなしの楽しさ、豊かさを“声”を通して子どもたちに届けられますように。

2/26 返却・書架整理ボランティア研修会

柴崎館長を講師として、返却・書架整理ボランティア16名が参加して研修会がありました。ボランティアは、今日初めて参加の方や、小学生から高齢の方まで様々です。しかし、皆「本が好き」で一致していました。利用者が気持ちよく利用出来る図書館を目指して「排架の基本」を皆で確認しました。大学生以下のメンバーが7名参加と、とても頼もしく、嬉しい研修会でした。



*「排架」とは、書架に順序に従って並べることをいいます。

としょかんこどもまつり

日 時 4月23日(土) 10:00～15:00

会 場 図書館 児童コーナー

《おはなしクイズ》

《絵本のお楽しみ袋》

《工作・ゲーム》

折り紙などを使って簡単な工作やゲームを楽しみます。

《布の絵本とおもちゃであそぼう！》

布絵本ボランティア「はなもも」さんと手作り絵本やおもちゃであそぼう！

《おはなし会》

10:00～10:15 ねむの木

11:00～11:15 おはなしキラキラの会

13:00～13:15 みんなで楽しくしよう会

14:00～14:30 スマイル



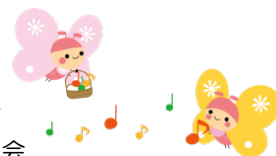
ひとみキラキラ 2022 第64回
本にときどき こどもの読書週間 4/23～5/12

第5回総会のごあんない

日 時 5月29日(日) 10:00～

会 場 増田公民館 ホール

記念講演の講師にアカデミック・リソース・ガイドの岡本真さんをお迎えします。岡本さんには、図書館設立、「なとと」設立に際し、新図書館設立アドバイザーとして大変お世話になりました。





♪わたしからあなたへ♪



本のバトン 「猫弁シリーズ最新刊」

no. 7

叶 由香

大山淳子さんによるハートフルミステリー。

2011年「猫弁～死体の身代金」（書籍化時のタイトルは「猫弁～天才百瀬とやっかいな依頼人たち」）がTBSテレビ・講談社ドラマ原作大賞を受賞。受賞に伴って2作品がテレビ放映され、その後書籍化されたシリーズは本作で7作目となります。

登場人物がとにかく魅力的。冴えない容貌、天才的な頭脳、自分のことは後回しで人の幸せを第一に考える稀代のお人好し弁護士・百瀬太郎。

そして、今回の物語のもう一人の主人公、二世議員の宇野勝子-通称「鉄の女」。

他にも女性達が登場し、彼女達からは「人生いろいろ」という当たり前の事を教えられ、ぽかぽかとした勇気をもらえます。特にラストは、笑いのあとに涙、涙。

本作だけでも楽しめますが、シリーズを順番に読み進めると、より楽しめると思います。



「猫弁と鉄の女」
大山 淳子：著
講談社：出版



☆☆12月～2月のナイトライブラリー☆☆

★12/24「クリスマスコンサート～クリスマス・イヴのタベ～」



2021年最後を飾るこの夜に我が街名取在住のソプラノ歌手中澤香織さんをお迎えしました。ピアノ伴奏の東歩美さんと共に、クリスマスメドレーを演奏すれば、会場は忽ちコンサートホールの雰囲気です。曲はアヴェマリアとアメージンググレイスに続き、参加の皆さんと一緒に唄う明るいクリスマスソングの数々。そして迎えた終演の曲の美しい讃美歌に大きな拍手が鳴りやまず、「アンコール」の

声に『ママがサンタにキッスした』をプレゼント。

スペシャルな一夜に皆さん大感激でした。



★1/28「思いを風にのせて～凧作り活動 30 年の歩み～」

お正月に相應しい凧の話です。ゲストは、凧作り活動 30 年の武田雄先生です。

凧の歴史は古く、日本に入ってきたのは、平安時代です。江戸時代に盛んになり、全国各地に広がりました。その土地の風にあった凧が作られ、日本は、世界一の凧の種類があるそうです。

凧作りの実演では、アッという間に完成させ、先生の名人技を見せて頂きました。

会場は、和やかで笑い声が響き、まるで同窓会です。帰りには、会場を飾った凧とともに竹トンボも頂きました。武田先生、お手伝いいただいた中澤幸哉さん、本当にありがとうございました。



★2/25 影絵シアター「名取老女ものがたり

～100 年先まで伝えたい・・・名取の物語～

那智が丘地区を中心に小学校の読み聞かせやおはなし会活動をされている「虹色マカロン」さんによる大人のためのおはなし会を楽しみました。おはなし会は、蛍光色の絵が浮かぶ幻想的なブラックシアター「花の木村と盗人たち」（新美南吉・原作）、スクリーンを使った絵本「りゅうのめのなみだ」（浜田広介・文/いわさきちひろ・絵）の読み聞かせ、そして 900 年前から伝わる高館にある名取熊野三社を勧請した物語の影絵シアター「名取老女ものがたり」の 3 部構成でした。



3 作とも、心を打つお話にところが洗われるようでした。自分たちで作画、音楽、照明とすべて手がけ、創り上げた舞台は、すばらしかったです。

100 年より更に先、永遠に伝承されることでしょう。

☆これからのナイトライブラリー☆

★3/25 「二・二六の時代の東北を想う～蹶起将校の兄、妹の物語から～」

ゲスト 寺島英弥さん
(尚絅学院大学客員教授
ローカルジャーナリスト)

★4/22 「みちのく潮風トレイルを歩く」

ゲスト みちのく潮風トレイル
名取トレイルセンター職員

*最終金曜日ではありません。ご注意ください。

★5/27 調整中

日 時 毎月最終金曜日 19:30～20:30
会 場 カフェコーナー
定 員 40 名
参加費 会員無料 非会員 300 円
申込み 図書館へ

でんごんぼん

♪Eテレ「こころの時代」で昨年 11 月 6 日に講演していただいた小野和子さんのドキュメンタリーが放送されました。心に残るステキな番組でした。何よりも小野さんの発するひとこと、ひとことが胸に沁み、関わる人に寄り添い、包み込み、幸せな気持ちにさせる魅力が伝わってきました。講演会が大成功だったことも嬉しいですが、小野さんに出会えたことが幸せです。機会があったら是非、小野さん著作「あいたくて ききたくて 旅にでる」（PUMPQUAKES 刊）を読んでみてください。

♪広報のお手伝いしてくださる方を募集しております。一緒に「なとと通信」を作ってみませんか。更に広がりのある「なとと通信」を目指し、多くの方に関わっていただけたら幸いです。お気軽にお声がけください。

♪新型コロナ感染、ウクライナ情勢そして 11 年目に再度の震災と続く中、心から平穏、平和を願います。